

グラウトパッカー

特公昭 39-1173

発明者 室 谷 三 朗

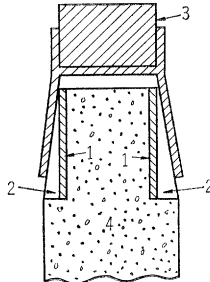
コンクリートくいの打込時における
頭部の破壊を防止する装置

特公昭 39-32

発明者 菊 地 五 男 利

本発明はくい打込時のコンクリートくい頭部の破壊を防止する装置に関するもので、コンクリートくいの頭部4の外側にクサビ形の抹壁2を有するL型の金物1を2個添接し、これにクサビ形と同一勾配の下部嵌込部を有するキャップ3を被冠したことを特徴とする。

本発明によれば、キャップ3を冠して上方より載落すればキャップ3の嵌込部とクサビ形抹壁2の作用によって打込みの回数に比例してくい頭4の側面は外方より圧縮され砂壊るのを防止できる。



モノレール高架鉄道用転てつ器

特公昭 39-1152

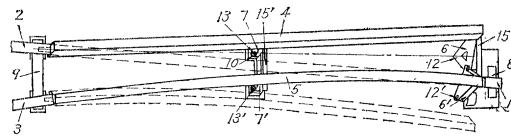
発明者 パウル・ウィルト

本発明はモノレール高架鉄道用の転てつ器に関する。

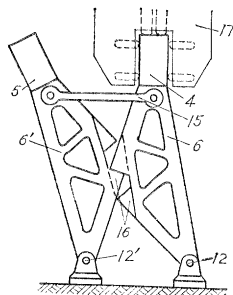
本発明は、幹線の路線1または多数の接続路線、2、3 に対して揺動可能に固定される転てつ器舌片4、5を有するモノレール高架鉄道用転てつ器において、転てつ器舌片の4,5それぞれは揺動点より間隔をおいて1個または多数の横動振り状支柱6.6', 7.7' 上に取付けられていることを特徴とする。

本発明によれば、転てつ器の切り替えに際し、転てつ器舌片4、5は円錐面の表面に沿って動かされ、転てつ器舌片のはり状体

平面図



端面図

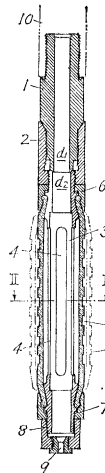


のそれぞれの点はその際水平に対して傾斜した円錐体のまわりゆるやかな円弧を描く、持ち上げる力は円弧の法線の高さが小であるから、小さい転てつ器の切り替えは純粋な回転運動により行なわれ、摩擦力も最小値に減少できる効果がある。なお両方のはり状体4,5を同時にかつただ1個の駆動装置により切り替えることが有利であり、振り状支柱6.6', 7.7'を連結装置15,15'によって連結し、リンク平行四辺形を形成させるとよい。

本発明は、ダム建設にあたり基礎岩盤を改善するためせん孔した注入孔内にセメントミルクを圧入するためのグラウトパッカーの改良に関するものである。

本発明は、管状をなす器体2の一部3に弾力性材料をもって周囲方向に膨張できるように構成した填隙筒5を連結し、その先端にノズル9を設けることによって填隙筒5内をセメントミルクの通路に兼用させ、器体2内に連結管10から圧送されるセメントミルクを填隙筒5を通してノズル9から注入孔内に注入する場合、その内圧によって填隙筒5を周囲方向に膨張させて注入孔壁との間げきを封塞するようになったことを特徴としている。なお図中4は管3に設けたセメントミルクが自由に入出できる窓孔を示す。

本発明によれば連結管10から加圧セメントミルクを圧送すれば填隙筒5が膨張し注入孔壁と密着し、圧送ポンプを停止すれば減圧により填隙筒5は元形に復し器体を注入孔から取り出すこともできるし、あるいは孔の上部へ移動することができる。従来のように填隙用ゴム材を作動させるためセメントミルクの圧送と別に加圧流体を送る必要がなくセメントミルク自体の圧送により填隙筒を制御できる効果がある。



防波堤

特公昭 39-1179

発明者 G. U. ジャーラン

本発明は鉛直壁を有する防波堤に関する。

本発明の特徴は、波の来る方向に向けて置かれる水平に延びた鉛直海壁12とこの海壁12と平向で同じ長さ延びた鉛直の無孔風下壁13とによって境された大気に開放された室16を有する一部水面下に没する構造物から構成され、海壁12が鉛直面全体に一樣に孔19が設けられて室16を多数のダクト19によって海18と連絡させ、ダクト19が海壁12の外側の波動する水粒子の運動エネルギーをダクト19を通ずる水平噴流としての水の集団移行運動に実質的に変換するように選択された長さ対直径比および間隔を有することにある。

本発明によれば、入射波を形成する水粒子の運動エネルギーの一部が周期的に室16内で位置のエネルギーに変換され、さらにその位置のエネルギーが運動のエネルギーに変換されて周期的にそれを繰り返えし、変換ごとに乱流によって入射波エネルギーの消耗が行なわれ、海側に反射される定常波の振幅を減少させる効果を有する。(特許庁審査二部 荒木達雄)

